

シェアが支えるシングルペアレント

2018.4.10 tue

14:00 ~ 17:00

会場 / 住総研会議室

東京都中央区日本橋 3 丁目 12 番 2 号朝日ビルディング 2 階

参加費 / 無料 定員 / 30 名

主旨説明：三浦 研 (京都大学 教授)

講演：葛西リサ (立教大学 RPD 研究員) 「ひとり親世帯の居住貧困の実態」

秋山怜史 (一級建築士事務所 秋山立花) 「ペアレンティングホームの計画・設計」

加藤久明 (ママハウスオーナー) 「ママハウスの取り組み」

カップルの 3 組に 1 組が離婚する今日、シングルペアレントが増加している。厚生労働省の「国民生活基礎調査」によると、65 歳未満のシングルペアレントと 20 歳未満の子供のみで構成された世帯数は、平成 28 年で母子 71 万 2000 世帯と、父子 9 万 1000 世帯で合わせて 80 万世帯になる。離婚は、新しい住む場所と仕事が同時に確保できなければ踏み切れない。さらに、子供の急病や残業など、予測不能な事態に対処できなければ働き続けられない。こうしたシングルペアレントの抱える課題を住まいで支援しようと、現在、シングルペアレント向けのシェアハウスの取り組みが全国で生まれている。同じ境遇の入居者同士の精神的な支え合いが可能なこと、また、実際に子育ても支え合える点がその魅力とされる。近年は、家賃や敷金などを抑えた物件や、住まいと就労をセットで支援するなどユニークな取り組みも生まれている。また、仕事と育児をシェアする、保育付きのコワーキングスペースも登場している。シェアがシングルペアレントのサポートとして広がりを見せるのか、そのための課題について議論を深めたい。

三浦研 (京都大学教授、住総研すまいろん編集委員)



企画：住総研 すまいろん編集委員会

主催：一般財団法人 住総研

お申込み：ホームページよりお申込みください。

<http://www.jusoken.or.jp/symposium/sumaisympo.html>

一般財団法人 住総研

<http://www.jusoken.or.jp/>

e-mail sumairon@jusoken.or.jp

〒103-0027 東京都中央区日本橋 3 丁目 12 番 2 号朝日ビルディング 2 階

TEL：03-3275-3078

住総研では「すまいろん」発刊に伴いすまいろんシンポジウムを開催しています。